七間座に集う

ーまちと市民が共に成長する文化づくりー

計画主旨

日本では平安時代から戦国時代にかけて「座」という文化が商業座・都市座・町座として街や地域文化を形成してきました。「座」には、“公的な場所や市場内における特定の座席”や“同業者による集会の場”という「集まる＝育てる場」としての空間要素を持っています。町単位では、座の集積の地縁的結合をもって結成される地域コミュニティを確立してきました。七間町地区においても、かつては生産販売の権利を独占する座【小紺 / 炭 / 米 / 檜物 / 千枚積 / 馬商 / 相物（干魚、塩）】が設けられ、七座の長の屋敷がある町＝「七軒町（七間町）」として物流の拠点として栄えてきました。その後、七間町は時と共に姿を変え、芝居小屋として「若竹座」、映画館通りとしての「シネマ座」へと座は機能性に応じ継承されてきました。この様に七間町の座は、ひと・まち・時代・文化・経済を形成してきた地域遺伝子（ストック）であり、これからも次世代へ形を変えながら受継ぐ文化要素（空間）であると思います。

本計画は、「座」という市民が集える「場・空間」を多面的に、まちに展開する事で映画館通りの文化に代わる循環型文化を育てる「七間座づくり」を提案します。七間座は、くらしの遺伝子を次世代へつなぐ文化づくりであり、新たなライフスタイルや地域形成を育てます。

「七間座」は、市民による文化創造をまちの新陳代謝によって文化機能を循環させる市民・地域交流を育てる「コミュニティ座」。メインストリートや細街路、街区空間における建築とまちなみの再生や回遊性のあるネットワークづくりを再考し、商い空間や住まい空間の生活起点（滞留空間）をつなぎ育てる「コネクト座」。循環型社会への対応、福祉サポート、まちなか居住などの健康的な都市づくりへの架け橋を育てる「ライフ座」の３つの柱で構成されます。そして、５つのKey-Programが七間町の次世代のまちづくりを相乗効果させ新たな都市形成を行います。

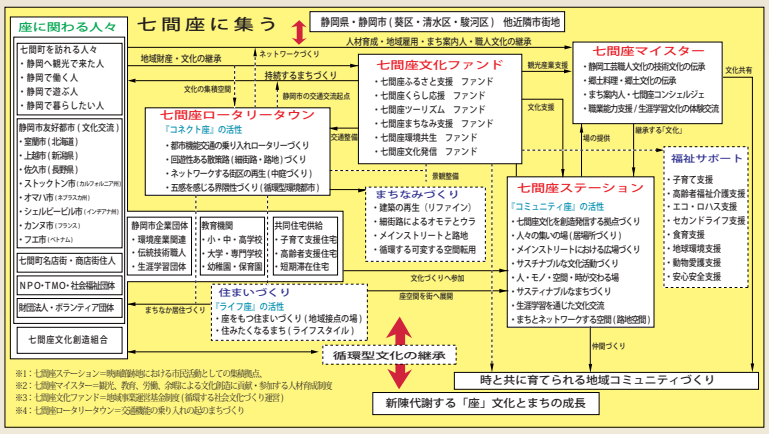
このように、市民と地域が「座文化」を育て継承することにより、市民創造の基礎を築き、まちに集う楽しみや静岡市街地における交流活動の起点づくりとして、七間町は新たな表情を育てることが出来ると思います。

program Ⅰ　まちに新たな活動拠点（七間座）を創ります ＜七間座創設の提案＞

●映画館機能に代わる新たな地域運営事業プログラム / 七間座による循環型文化創りを形成

七間町通りの歴史には「商業→芝居→映画」と形を変え、まちの文化は形成されてきました。今後、映画館群の移転によって、都市の空洞化・都市機能の衰退が進み、七間町は新たな魅力的文化づくりが必要とされてきます。静岡市街地における都市機能の役目を果たし、新たな文化創造（市民交流の拠点）として「七間座」を育てたいと思います。「七間座」は、七つのコミュニティ文化を地域が育て、交流・産業・余暇・学習・体験等の文化集積のまちとし、七間町全体が市民の活動広場へと変化します。また、まちは新陳代謝を繰り返し時と共に七間座の文形成を行い、「七間座ステーション※1」や「七間座マイスター制度※2」、「七間座ファンド※3」、「七間座ロータリータウン※4」などの機能提案により、新たな七間町の文化・市民・まちを育みます。

生産販売の座（商業） ▶ 芝居小屋（若竹座） ▶ シネマ通り（映画館） ▶ **七間座（循環する文化創造の場）**

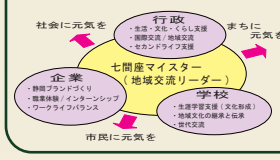


●「七間座ステーション」を創造（多様に変化する座空間のコア拠点づくり）【映画館跡地の再生】

映画館跡地は、「七間座ステーション」として七間町の新たなコア拠点へ再生します。七間座（文化集積）の中心性を育て、新たな文化創造発信の起点の場へと展開します。循環型都市社会に対応し、静岡市街地の文化や余暇、生活、健康を潤すサポートの下、ネットワークする通りや路地・広場・まちなみ空間と結び、次世代へ継承するステーションを創ります。

●七間座マイスター制度による人材育成・連携づくり

まちを活性化するために、産・官・学による連携支援や文化的学習体験支援（生涯学習）を通じ、地域市民を主体とした自己啓発を行います。発信・創作・交流する活動を中心に「七間座マイスター」として相互関係による人材育成を育み、雇用職業訓練や職人伝統技術の伝承、永続できる学習機関、セカンドライフ支援、ライフワークの提案など静岡文化を通じ、ひとづくりをサポートして行きます。

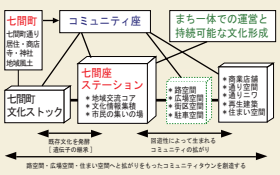


program Ⅱ　地域活性・交流が七間座の文化を育てます ＜コミュニティの提案＞

●まちに展開する市民交流の場（コミュニティ座）を育てる

市民が自発的に地域と参加交流を図るためのふれあい起点を育てます。七間座のまちなかに回遊散策できる、商業店舗・業務空間・広場空間・街路空間・住まいなど多様なコミュニティ文化がつくられ、外来者と共に「座」が活性化します。

「コミュニティ座」は７つから成り立つ「活座」、「遊座」、「食座」、「職座」、「学座」、「生座」、「交座」で場を育てます。座は互いに反応しながら、時と共に地域と市民が新たなコミュニティ文化を提案・発信しながら集いの「座」を展開します。



活座　Active な場を育む　＜活動支援・・・モノ・ヒト・時と共に活動する場＞
活動の場 / 商い空間 / イベント広場（フリーマーケット・大道芸・屋台）/ ワークショップ / 文化行事

遊座　Leisure な場を育む　＜遊び支援・・・遊び・集い・交流を通じて余暇を楽しむ＞
子ども空間 / 老人福祉 / 居場所づくり / 憩いの場 / 集いの場 / 買い物 / 遊具 / 自然空間

食座　Gourmet な場を育む　＜食処支援・・・静岡グルメと安心安全食を味わう＞
静岡ブランド / 郷土料理 / 安心安全食品 / ロハス食品 / 食育 / 料理教室 / 地域・家庭菜園

職座　Work な場を育む　＜労働支援・・・ライフワークバランスで働きながら生活する＞
職人技術の伝承 / インターンシップ / キャリアアップ / 産官学協同事業 / 団塊世代の活躍

学座　Learning な場を育む　＜学習支援・・・生涯学習・体験学習を通じて学ぶ楽しみ＞
生涯学習 / 文化芸術サポート / メディア・図書 / 七間町史料館 / 体験型教室 /

生座　Living な場を育む　＜生活支援・・・健康・循環する豊かな暮らしサポート＞
サスティナブル / メモリアル / 自然共存共生 / 環境５R活動 / 高齢者福祉支援 / 子育て支援

交座　Friends な場を育む　＜交流支援・・・起点を通じて、文化・交通・人が交わる＞
コミュニティ / 国際交流 / バスステーション / 辻 / 交差点 / 仲間づくり / 街路空間 / 路地

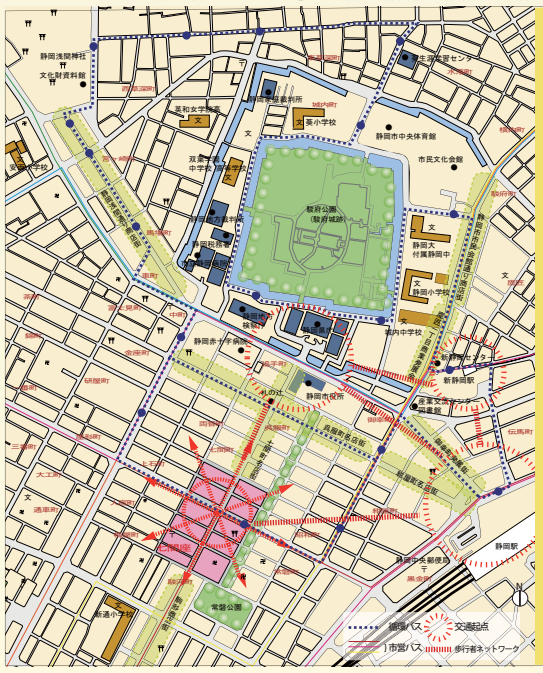
●七間座は時と共にまちに根付き成長し続けます「七間座ふれあい循環暦づくり」

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
活座	いちご狩り	駅伝マラソン		七間座まち歩き		七間座健康運動会			アートフェスタ		大道芸ワールドカップ	
遊座			七間町子育てタウンフェスタ			くいだおれ市		静岡夏まつり夜店市		七間座フォト大会		クリスマスコンサート
食座	御節くらべ	おでんフェア			静岡新茶市		七級グルメ市			七間座文化祭		
職座		七芸職人グランプリ		市民公開講座		文化職業体験			起業応援祭		産業フェアしずおか	
学座		節分祭	地球環境月間			輪くぐり	七夕祭	七間座国際スクール				
生座	七間町七草粥			お花見	花の散歩道づくり		ロハス住まいづくり			地域薬園収穫市場		メルミネーション
交座		七間町青空市		静岡まつり		ものづくりワークショップ		静岡おだっくい祭り				餅つき大会

program Ⅲ　交通機能の整備により静岡市が繋がります ＜ロータリー機能の提案＞

●静岡市における七間町の位置付けと交通機能整備・バスネットワークによる都市交通の再生

七間町商店通り（歩行空間）と国道362号線（自動車空間）が交差する七間町交差点を中心に、南西郊外地からの玄関口として静岡駅前に次ぐ交通起点を整備します。従来のロータリー施設を建設整備するのでなく、バス・自動車・自転車・歩行者が乗り入れするまちとして「七間座ロータリータウン」として整備します。静岡駅⇔中心市街地⇔七間座をつなぎ、静岡市内へのネットワークを拡げ、「七間座で降りたくなるまち」として新たな静岡市の起点づくりを育てます。


静岡浅間神社
静岡市役所
静岡駅
新静岡駅
静岡市民文化会館
駿府公園（駿府城跡）
静岡中央郵便局
静岡中学校
静岡小学校
静岡市立静岡中学校
静岡市立静岡高等学校
静岡市立静岡商業高等学校
静岡市立城内中学校
静岡市立城北小学校
静岡市立城北中学校
静岡市立安東小学校
静岡市立安東中学校
静岡市立千代田小学校
静岡市立千代田中学校
静岡市立南藁科小学校
静岡市立南藁科中学校
静岡市立長田西小学校
静岡市立長田西中学校
静岡市立清水特別支援学校
静岡市立清水養護学校
静岡市立清水庁舎
静岡市清水文化会館
静岡市清水総合庁舎
静岡市清水地域交流センター
静岡市清水中央体育館
静岡市清水中央図書館
静岡市清水中央児童館
静岡市清水中央保育園
静岡市清水中央幼稚園
静岡市清水中央公園
静岡市清水庁舎
静岡市清水総合庁舎
静岡市清水文化会館